

## ●日本国憲法より●

第13条 すべて国民は、個人として尊重される。生命、自由及び幸福追求に対する国民の権利については、公共の福祉に反しない限り、立法その他の国政の上で、最大の尊重を必要とする。

第25条 すべて国民は、健康で文化的な最低限度の生活を営む権利を有する。国は、すべての生活部面について、社会福祉、社会保障及び公衆衛生の向上及び増進に努めなければならない。



協同で創る健やかライフ

## 健康

第748号

発行所

〒036-8045  
弘前市大字野田2丁目2の1  
津軽保健生活協同組合  
発行責任者 村上 渡  
電話 0172-33-7515  
ホームページ <http://www.tsugaru-health.coop>  
Eメール [kenkou@tsugaru-health.coop](mailto:kenkou@tsugaru-health.coop)  
印刷所 有限会社新和印刷  
◎組合員の購読料は出資金に含まれます

健康  
第748号  
2025.7

総代会特集

(本号は、総代会の決定内容をお伝えするため、5日ほど発行が遅れました)

## 2025年度 第100回通常総代会

## 「いのちの誓」津軽保健生協を守り抜き、いのちと平和を未来へつなごう

6月14日に津軽保健生協の通常総代会が藤崎町文化センターで開催されました。今回は第100回という節目の開催となり、午前に記念企画として各事業所の活動報告、班・組合員・支部表彰・永年勤続役員表彰、新入医師紹介が行われました。午後には通常総代会が開催され、出席総代211名、書面議決78名、代理出席4名、合計293名の総代にて、理事会から提案された第1号議案から第3号議案まですべて賛成多数で可決されました。記念企画で行われた各事業所の活動報告は、機関紙「健康」8月号にて内容を紹介いたします。

理事長  
伊藤 真弘

## いのちを

今回は第100回の総代会という事で、津軽保健生活協同組合73年の歴史の中でもひとつの節目となる総代会と言えるでしょう。

皆さんもご参加いただいたと思いますが、午前中の記念企画はいかがでしたでしょうか。津軽保健生協の事業所の活動を紹介させていただきました。各事業所のプレゼンは短い時間でしたので、いろいろな活動のほんの一部しか紹介できなかったとは思いますが、各事業所がどんなことを



総代のみなさんが熱心に耳を傾けて、津軽保健生協の明日を共に考えました

やっているのか、その一端をお知らせできたのではないかと思います。

昨年の総代会で、「津軽保健生協は経営危機である」と話しました。「経営危機というような表現は軽々に使うものではない」とのお叱りの言葉もいただきましたが、おそらくは、73年の歴史の中で最も経営的には厳しい状況となっていると考えています。

私は入職して40年弱となりますが、入職してから「経営はまったく問題ない」と言う話はあまり聞いたことはありません。おそらくそれ以前もそれぞれの時代で少なからず「常に厳しい」時代をかさねてきたのではないのでしょうか。その時々を経営幹部・理事・総代の方々・職員、そして多くの組合員の方が力を合わせることで乗りこえ、津軽保健生協の現在に至っているの

はないかと思っています。

経営状況に関しては専務の報告の中で詳しく述べるとしますので、詳細は専務の報告に譲りますが、現在直面している経営の危機的状況をすべての職員・組合員の力を結集することで理事会が先頭に立って乗り切っていきたいと、決意を込めて述べたいと思います。

津軽保健生協は国民皆保険制度がない時代に、津軽の貧しい農民や市民が、自分たちがかけられる医療機関をつくらうとして、志を同じくする医療従事者など力を合わせて発足しました。それ以来わたしたちの先輩たちも含め常に「最も弱い立場の人」に寄り添うことを基本に事業活動を進めてきました。現在私たち津軽保健生活協同組合は厳しい経営危機状態ですが、経営は私たちの本来の目的を実現するための手段に過ぎません。しかしながら経営的な裏付けがなければ、この地で事業活動を続けていくことはできません。わたしたちの最も根源的な使命は、「この津軽の地からいなくなるしない」ことです。

人も動物も誰もが、平和で健やかに安心して住み続けられるよう、医療福祉の活動を通じて津軽地域に住む人びとの健康と暮らしに貢献していきたいと考えています。今後とも皆さんのご協力をいただきますよう宜しくお願いいたします。

最後に初代組合長・津川武一さんの言葉

## 第100回 通常総代会 スローガン

一、通常総代会100回の歴史を力に、いのちとくらしを守る医療・介護事業を維持・発展させ、経営の健全化と安定化を図りながら、事業・経営・運動を組合員と職員の「協同」で進めよう。

一、総力をあげて地域とのつながりを広げ、仲間ふやし・出資金ふやしの目標を達成し、津軽保健生協を大きく、強くしていこう。

一、「時間外労働月80時間・引退前80歳」に象徴される絶対的医師不足と向き合い、津軽地域の行政・医療機関と力を合わせて、医師の確保・育成を進め、誰もが安心して受けられる医療提供体制を実現しよう。

一、憲法を守り生かし、大軍拡・改憲に反対し、いのちとくらしを大切にす平和で公正な社会の実現に向けて声をあげ、行動を広げよう。

を『医療を民衆の手に』から紹介します。

いかに美しい故里でも、またどんなにりっぱな病院をもとうとも、働く人びとが貧しさの故に医療を安んじてうけられない現実があるかぎり、それは悲しいことである。

古い城下町の弘前も、りんごと米のみのり豊かな農村も美しい。その美しさが、人間が人間として生きていくための美しさ、豊かさにむすびつくまで、津軽の働く人びとがほんとうのしあわせをつかむまで――津軽野に光のさしこむまで、私たちは民衆とともにたたかいつづけていくだろう。



新研修医5人に激励の声が飛ぶ





## 健生病院の事業活動

- 高齢者の救急搬送が増加しており、2023年の搬送件数は前年比5%増の12,392人、そのうち約7割が65歳以上。2024年10月に「地域包括医療病棟」を開設し、リハビリや栄養管理、入退院支援を提供して在宅復帰を支援。半年間で292人の患者を受け入れた。
- 重点課題として業務効率化を推進。プロジェクトチームがカルテ記録や申し送りを見直し、多職種で業務改善を実施。これにより残業時間を3割削減、医療事故ゼロを達成。

⑬



## 健生病院の事業活動

- 地域組合員との交流を促進、病院大会参加や大規模な地域訪問を実施。入院者に組合員価格を設けるなど加入促進策を講じ、組合員は前年比188人増の657人の仲間ふやし。
- 積極的な入院患者受け入れで病床利用率が向上
- 医師体制の悪化で外来、手術、内視鏡、分娩が減少
- 医師体制に頼らないリハビリや健診を伸ばし増収につながった

⑭



## 組合員活動

【生協強化月間】

- ✓秋の全国統一月間と支部独自の二か月の月間設定
- ✓月間推進委員会を3ブロック（中弘・南黒・西北）で開催、月間方針の意思統一
- ✓組合員台帳整理訪問、お元気ですか訪問、増資のお願い訪問
- ✓待合室や病室での組合員加入・増資の訴え
- ✓職員と組合員共同の地域訪問

⑮

四中りんご・さくら支部  
合同健康まつり深浦岩崎支部  
活動者交流集会

⑯



## 組合員活動

【班会・たまり場で健康づくり・安心づくり】

- ✓134班で年間817回の班会、延べ4,282名が参加
- ✓健生病院の班会メニューが年69回で好評、町会に呼びかけての開催も
- ✓和徳、大成、三大、文京、東中、南、黒石の各支部たまり場でゆるやかなつながりづくり

【個別課題】

- ✓市浦支部が10年ぶりに運営体制確立で再建

⑰

大成支部たまり場  
「わたなの生き生きサークル」和徳支部たまり場  
「サロンつくし」

⑱



## 大運動方針の実践

- 職員向け学習教材：医療生協の理解・復習
- 出資金増資スタンプカード
- 出資金2,000円以下組合員への訪問
- 組合員活動の前進
- 理事・職員・組合員が一体となった創意工夫のとりくみ

- ◆結果：数としては4年連続の組合員・出資金の減少  
減資額：1.4億円（直近7年で最多）

⑦



## 医師確保の課題

- ◆初期研修医 23年度2名、24年度4名、25年度5名  
23年度の2名が終了し、2名とも青森県民医連に在籍しながら専門研修へ
- ◆既卒医師入職1名、退職6名：医師数減少  
→医療活動（質・量）への影響、現在在籍医師の負担増が危惧される
- ◆青森県民医連全体で依然として医師不足

⑧



## 働き方・待遇改善の推進

- ◆処遇改善のための加算は適切に賃金改善へ充当
- ◆訪問看護ステーション看護師へ調整手当
- ◆ケアマネ手当の増額  
→ケアマネは政府による処遇改善政策の対象外  
ケアマネの賃金増をめざした運動が必須
- ◆2交代制勤務の導入（検査科、放射線科）
- ◆看護師夜勤2交代導入へ向けたプロジェクト
- ◆法人休日、4週8休、定年延長などは継続課題

⑨



## 組合員参加のあり方提言

- ◆支部活動交流集会で学習会実施
- ◆学習の範囲と内容をさらに充実させ、多くの職員と組合員の討議や理解を広げる必要がある
- ◆津軽保健や各支部の今後のあり方についてさらに深めていく

⑩



## 機関紙「健康」の活用

- ◆2024年度は計10回発行、4面・8面それぞれ5回
- ◆支部活動、事業所活動のほか、「医師からの紙ヒコキ」「健生病院の仕事人たち」などシリーズが好評
- ◆虹の投書箱への誠実な回答で組合員になった人も
- ◆新年号では初期研修医による座談会企画
- ◆豪雪で手配り厳しく2月号を発行中止、3月号を8面構成で充実

⑪



## 平和と人権を守る活動

- ◆平和行進への参加
- ◆原水禁（広島）に医師2名含む3名派遣  
「自分たちから平和活動を救っていきたい」
- ◆能登半島被災地へ組織部員が支援、健康チェックや訪問行動への取り組み
- ◆社保平和委員会が中心となって、各種署名やスタンディングアピール、学習会などが旺盛に取り組まれた

⑫



## 第1号議案

2024年度事業報告、  
決算関係書類の承認に関する件

①



## 2024年度 世界の情勢

- ロシアのウクライナ侵略：戦闘の長期化、人道危機の深刻化、避難民の増加、インフラの破壊
- イスラエル・パレスチナの衝突：民間人の被害増加、物資の不足、不十分な支援
- 日本被団協のノーベル平和賞受賞：核廃絶へ向けた長年のとりくみが国際的に評価
- トランプ大統領再選：経済、外交・安保、エネルギー政策などが世界経済や国際関係に影響する可能性

②



## 2024年度 日本の情勢

- 衆議院選挙結果：与党が過半数割れ、石破内閣の発足
- 防衛費増額、防衛特別法人税・防衛特別所得税の導入検討
- 物価高騰・あらゆる物価の高騰止まず、米の価格上昇
- 医療・介護業界の危機：倒産件数過去最多
- 高額療養費制度自己負担限度額引き上げは白紙撤回を
- マイナ保険証一本化に対する不安
- 能登半島地震から1年以上経過、長期的な視点で支援を
- 原子力発電の利用拡大が明確化、ALPS処理水放出の継続

③



## 経営課題

- 2024年度決算  
事業剰余▲6.0億円（予算+0.8億円、前年+7.1億円）  
経常剰余▲5.7億円（予算+1億円、前年+3.5億円）
- ☆病床利用率の向上、健診受け入れなどによる収益増加  
毎日の予算管理（患者数目標の到達把握）などで前進
- ☆職員配置数の適正化、時間外業務削減（プロジェクトの成果）  
材料・在庫の見直し、委託業務内容の見直し

予算・前年を超過したものの、必要剰余には大きく届いておらず“経営危機”状態が継続

※必要剰余までにはあと6億円の改善が必要

④



## 経営課題

全日本民医連経営部の現地調査（2024年12月）  
～各事業所の経営分析や改善策を議論

- 経営管理が不十分（進捗管理など）
- 本部・病院事務局機能の弱さ（部長不在など）
- 職員配置数や委託費などの大きな見直しが必要
- 事業継続の判断が必要な事業所あり
- 複数年かけて改善する資金的な余裕はない、  
1年で必要な水準に回復することをめざすべき  
→2025年度は必要剰余獲得の予算作成  
をめざす決意

⑤



## 介護事業の課題

健生介護センター虹  
ショートステイ事業の休止（2025年5月末で完了）

- 職員集会で意思統一を図るも前進かなわず。
- 5年平均▲4,600万円の赤字で事業継続困難。その要因が利用者確保困難、さらにその理由が地域需要の変化、外部施設の入所待ち減少で、この先も状況が変わる展望がない。

単独型ショートステイは全国的に厳しく  
各地で事業転換や休止が検討されている

⑥



## 経営活動

### 【決算の概要】

- 事業収益 105億5,084万円（予算△2億4,698万円、前年+1億9,230万円）
- 事業費用 111億5,791万円（予算△3億3,423万円、前年△5億2,204万円）
- 事業剰余金△6億 707万円（予算+8,724万円、前年+7億1,434万円）
- 経常剰余金△6億7,125万円（予算+9,803万円、前年+3億5,147万円）
- 当期剰余金△5億7,058万円（予算+1億66万円、前年+3億6,227万円）

償却前経常剰余（≒獲得資金）  
1億806万円 →赤字であった前年から4.1億円の改善となり予算も上回ったが、予算が必要な水準に大きく届いていないため、予算を達成しても資金が減少した。



和徳支部  
担い手探し訪問

## 組合員活動

### 【生協四課題】

✓5支部が四課題達成、6支部が三課題達成

### 【仲間ふやし】

- ✓1,508名（目標比60%、前年比125%）
- ✓自由脱退354名、法定脱退1,235名
- ✓組合員数は81名の純減、総組合員数49,907名
- ✓長期住所不明の組合員整理は実施せず
- ✓18支部、2事業所が自主目標達成

## 損失処理案

I 当期末処理損失金	1,012,223,791円
II 損失金処理額	0円
III 次期繰越損失金	1,012,223,791円

※前期からの繰越損失金 441,641,122 円に  
2024年度の当期剰余金 △570,582,669 円の赤字を  
加えた額が次期に繰り越す損失金

## 経営活動

### 【財政状況】

純資産	4億2,516万円	※自己資本比率3.5%
現金	10億1,357万円	※月商倍率1.15倍
借入金	短期 1.6億円（年末一時金支給目的）	
	長期 68億8,339万円	
組合債	2,111万円	

- ✓電子カルテ更新費用7億円を含めて10億7,724万円の減少
- ✓月商倍率1.15倍で最低限保持すべき水準だが、資金減少構造のため今後の資金繰りには十分な留意が必要
- ✓長期借入金は約定通り返済が進んでいる
- ✓出資金は4年連続で純減

## 組合員活動

### 【出資金ふやし】

- ✓9,936万6,800円（目標比40%、前年比108%）
- ✓自由脱退2,225万3,400円、法定脱退3,630万3,400円  
減資8,367万2,800円
- ✓4,286万2,800円の純減、総出資金14億5,285万円
- ✓20支部が自主目標達成

### 【班づくり】

- ✓新班11班結成、廃班18班で登録班が減少
- ✓9支部が自主目標達成

## 厚労省で記者会見（2025.6.12）



診療報酬の抑制によって、医療が危機をえている。開業医らで構成する「全国保険医団体連合会」（保団連）が6月12日、厚生労働省で会見を開き、全国の病院が経営難に陥っており、このままでは医療が崩壊しかねないというたえ、診療報酬の引き上げを求めた。

「もう限界だ」医療現場から悲鳴…診療報酬の抑制で病院経営が苦しく「崩壊の危機」保団連が訴え

## 重点課題③人材確保・育成と質の向上

- 医師をはじめとする医療・介護従事者の確保と養成、質・量の両面から人材育成にとりくむ
- 研修・学習機会の拡充
- 働きがいと誇りのある職場づくりの推進

## 重点課題⑤2025国際協同組合年を機にした連携と社会的発信

- 医療福祉生協の理念と活動を発信
- 他協働組合・自治体との連携強化
- 平和で公正な社会づくりへの行動



## 第2号議案

2025年度事業計画、予算の承認に関する件

## 経営課題

必要剰余＝償却前経常剰余7億円

※償却前経常剰余＝経常剰余＋減価償却費

- 2025年度予算到達  
経常剰余 0.49億円（前年+6.2億円）  
償却前経常剰余 6.40億円（前年+5.3億円）**0.6億円不足**  
  
事業収益 109.7億円（前年+4.2億円）  
事業費用 109.4億円（前年▲2.1億円）

かなり高い目標となるが、  
この予算をやりきること未来が拓ける

## 継続課題

- (1) 経営危機からの脱却
- (2) 組合員活動、仲間ふやし、出資金ふやし
- (3) 医師確保と配置の課題
- (4) 職員の働き方・待遇の見直し
- (5) 機関紙「健康」の活用と全国への情報発信
- (6) 平和と人権を守る活動

## 重点課題①2つの危機への対応

- ① 組合員参加の危機
  - ・班活動や健康づくり活動の定期開催
  - ・若年層・子育て世代へのアプローチ強化
  - ・組合員のあり方提言（医福連）の学習と協議
- ② 経営・事業継続の危機
  - ・2025年度予算の超過達成
  - ・財政支援や安定経営を求める運動への参画



以上で第1号議案と第2号議案の  
提案を終わります



国際協同組合年  
2025  
協同組合はよりよい世界を築きます

## 役員変更のお知らせ

2025年7月1日より

【専務理事】 泉谷 雅人  
（現・専務理事  
および健生病院事務局長）

【副専務理事】 村上 渡  
（現・専務理事）



## 組合員活動の取り組み

- ◆ 班会・たまり場づくりで健康づくり安心づくり  
・フレイル、認知症予防で健康寿命  
・世代や組合員の枠を超えた多様な参加  
・町会や団体など地域の連携で新たなつながりを  
・楽しい居場所づくりと安心づくり

- ◆ 担い手探しを粘り強く
- ◆ 2025年度も大運動方針のとりくみ
- ◆ 活動の結果として四課題の達成を



## 青森県庁 健康福祉部長訪問（2025.4.17）



泉谷事務局長 村上専務 竹内院長 今専務（青森保健）  
飯田保険協会理事 津川保険協会会長 守川健康福祉部長



## 委員会・事業所の2025年度活動

- 【組合員活動委員会】 【社会保障平和委員会】
- 【事業所利用ボランティア委員会】
- 【健康づくり委員会】 【教育委員会】

- ◆ 健生病院 ◆ 健生クリニック ◆ 藤代健生病院
- ◆ 津軽医院 ◆ 健生五所川原診療所
- ◆ 健生黒石診療所 ◆ 健生訪問看護ステーションたまち
- ◆ 地域生活支援センターびあす
- ◆ 弘前市第一地域包括支援センター

詳細は議案書をご確認ください。



## 重点課題②地域に開かれた津軽保健

- 多世代の参加促進
- 地域イベント・学習会  
健康講座、介護予防体操、認知症カフェ等  
協同の場を創出

## 重点課題③事業戦略

- 地域需要と事業が合致しているかを再点検し、必要あれば需要に即した提供体制を再構築



全体討論の要旨



高松 利昌 総代(和徳支部)

支部の活動エリアが、生協会館のある地域だ。その中に「第一地域包括支援センター」と「地域生活支援センター」があり、高齢者の集いの場づくりの働きかけを受けて、「サロンつくし」の名称で当支部が2019年2月から開始した。当初は月2回の取り組みで、冬季間不足不安のため3月まで休み、その後月1回開催に減らした。開催の案内は月1回発行の「支部ニュース」だけに載せていたが、その後他県からの取り組みの例から、内輪の取り組みだけでなく、近隣の町会の回覧にも入れてもらう段取りをした。それから、新たなつながりが生まれた。支部レク参加者の増加につながり、昨年10月の十和田湖へのレク参加者は54名となり、新たな組合員も増えた。

今年度は「国際協同組合年」でもあり、近隣のコープあおもり和徳店・(株)ファルマの協力も得て、盆踊りを企画。サロンつくしで3回、盆踊りとディスコの練習中だ。室内だけの行事に限定せず、市内外の神社仏閣などの見学ツアーも企画している。

昨年度は四課題の目標も達成。そして「健康」手配り率も84.4%で、機関紙配布率で全支部のトップになった。さらに地域に影響力を発揮できる支部に成長していききたい。

今年4月期の月次仮決算では現預金額が2億8百万円減って8億5百万円、月商倍率は0.92倍ということでした。どのような状況なのかお知らせください。

次に、今年度予算案では、償却前経常剰余を6.4億円としています。が、これでも必要利益には届きません。しかし、そうであったとしても6.4億円をどのようにして実現するのか。

国の2025年度予算を成立するために自民公明両党は維新の会と合意



石田 久 総代(時敏支部)

サテライトクリニック実現に向けて。健生病院・健生クリニックが扇町に移転して早や8年。コロナを経験し、異常な物価高騰の影響もあり、病院経営は厳しい状況が続いている。かつて生協会館に診療所機能の設置が提起され、第90回総代会において第4次中長期事業計画を議論した折、旧健生クリニックの診療所機能の存続への努力が修正動議として出され、可決した。青森県民連加加盟事業所の医師体制が逼迫しているが、まちづくりや経営の視点からも重要だ。さらに97回総代会でも、実現に向け引き続き設置を展望した。今回第100回の記念すべき総代会ではどのように具体的な提案がされるのか、お答えください。地域と医療生協が一体となって健康づくりやまちづくりをすすめていくためにもサテライト実現を強く要望する。

高橋 佳孝 総代(五所川原支部)



中医協の資料の中で、病院の収支構造の変化という、2018年と2023年を対比した資料があった。事業収益は10%、しかし事業費用は15%も伸びて、結果、事業利益はマイナスになっている。内容は人件費以外の医薬品とか医療材料費、委託費とかそういうものが人件費を倍する増加率になっている。当生協だけではなく全国的にもこういう段階になっていることを実感した。日本医師会出身の委員が大変厳しい発言をしている。現在の経営は大変厳しく、賃金上昇物価高騰、さらには医療の技術革新への対応ができない、このままでは人手不足に拍車がかかり、患者さんに適切な医療が提供できなくなり、ある日突然地域から医療機関がなくなることを危惧する。昨今の物価賃金上昇により、もはやこのままのやり方では医療機関の経営は安定しないことは明らかだ。長期借入金の返済原資が出てこない。まさに当生協を代弁しているような問題を提起された。昨年経営危機と自ら宣言した当生協は、どのようにして立て直しを図るのか。

そういうとき、「健生病院医報」という冊子を知った。竹内健生病院院長がお書きになった健生病院2023年の振り返りと2024年目標と題する巻頭言があった。健生病院のトップとして病院の現場で行ったこと、考えていることが記されていた。大きい方針、具体策、取り組み意義、意気込みなどが示され、何としても事業として存続し続けなければならぬ。と硬い決意を表明し、全職員への知恵を出し合い、地域組合員の協力も経て経営改善を進めていくと呼び掛けている。私は3回読み、胸のつかえが取れた。竹内院長には願わくばその後を執筆いただききたい。今年の「健生病院医報」の巻頭言は泉谷事務局長が「2025年問題と病院経営の現実」と題して鉛筆をなめられている。そこには国の施策がいかに足元を見えないものであるかを告発している。

今消費税論議が政治の世界では盛んだ。この消費税という悪税を当生協は5年間で20億円も払わされている。繰越損失は10億円だから、その倍払っている。これがなければまさに今は左うちわとなる。そういう風なことで、今後とも大局観に立った経営活動を通してやっていただきたい。

浅利 直志 総代(常盤支部)



①組合員参加の危機の打開・克服について・多世代および子育て世代の参加を促す親子企画とは？(P65)

②健生エリア、藤代病院の経営改善について。25年度経営剰余で約4億円プラスすることは並み大抵のことでは達成できない課題。目標を達成するための具体策を2つ3つ程明らかに。



櫻庭 友子 総代(岩木支部)

支部の現状は、1510世帯が組合員。全世帯の45%ですが、最近が高齢化で課題です。休止する班が増えている手配りができず郵送が増えていきます。黙っている状況は悪くなる一方なので、昨年組合員訪問に取り組みでき、新規加入24名、担い手21名になり、三課題を達成することができました。協力いただいた職員、組合員の方から感謝したい。

昨年は特に雪の被害が多くて、組合員のお宅を訪問すると、家族の介護や病院通いの大変さを話す人もいました。こうした声を聞き、組合員に寄り添い、班会にお誘いしたり、つながることが大切だと感じています。今年も4月から組合員訪問活動を続けていきます。うれしいことに3月に新しい班が誕生しました。これからみんなで、組合員健診を受ける予定です。また、休止していた「支部ニュース」を再開しました。早速「支部レク」に参加したいとの連絡がありました。みんなで楽しく活動していきたいと考えています。

岡 富子 総代(市浦支部)



第100回総代会に、市浦支部の再建を報告します。昨年10月11日に、15年ぶりに支部総会を開催しました。私がいま支部長をさせていただくことになったのは、父親が保健生協の活動をしてきたことを知っていて書き換えの訪問を受けたことにはじまります。そして「健康新聞」の手配りを頼まれたのです。その後、支部体制を整えようとなり、10月に総会を開催し、副支部長、事務局長もお願いして、再建されたもので、ご指導をお願いし、経過報告といたします。

外崎 良一 総代(中里支部)



生協四課題の支部目標が達成できた活動の取り組みについて報告します。

昨年7月20日の西北健康まつりで中里から21名の参加者があり、出資金の協

表彰の部一覧

- (1) 班会開催の部

① 3年連続指標班として班会を開催した班の部

時敏支部…みやぞの班

東中支部…ひかり班

② 5年連続指標班として班会を開催した班の部

三大支部…カッコー班

田舎館支部…カトレア班

トルコキョウ班
- (2) 総代・支部役員・担い手として活動し5年を経た組合員

時敏支部…2名

和徳支部…1名

河西支部…2名

下町支部…1名

大成支部…4名

三大支部…4名

四中心支部…3名

五中支部…2名

東中支部…1名

南中央支部…2名

南石川支部…1名

北馬支部…1名

相馬支部…1名

黒石支部…6名

尾上支部…1名

田舎館支部…7名
- (3) 特別表彰の部

④ 四課題中、3課題以上を達成した支部の部

和徳支部、北東支部、岩木支部、黒石支部、尾上支部、田舎館支部、五所川原支部、金木支部、中里支部、市浦支部、小泊支部

② 新聞配布者を10名以上増やした支部の部

和徳支部、岩木支部、黒石支部

\*指標班とは

- ① 班長が選出されている
- ② 機関紙が配布されている
- ③ 年3回以上班会を開いている
- ④ 生協四課題に取り組んでいる

生協活動に貢献した総代・支部役員・担い手として第一線から退いた組合員の部

- 北東支部…葛西 えつ
- 河西支部…永井 チセ
- 大成支部…木村 孝一
- 四中心支部…阿部 芳子
- 五中支部…平山 忠衛
- 奈良岡あい子
- 木立 裕子
- 東中支部…工藤 敦子
- 南支部…中畑 光子
- 小畑 幸子
- 加藤 ミサ
- 対馬 和幸
- 齊藤恵美子
- 宮川 洋子
- 相馬支部…宮川 洋子
- 尾上支部…西崎 昭吉
- 今 ゆこ
- 石田 俊悦
- 田舎館支部…福地 光紀
- 平賀支部…三浦 あき
- 板柳支部…上原 信子
- 五所川原支部…上見 むつ
- 島村喜久子
- 高橋 恵子
- 高橋 みつ
- 三橋 ず江
- 鳴海 京子
- 大槻 利子
- 坂田カツエ
- 中村 正行
- 瓜田ときあ
- 木造新田支部…中村 正行



力も得られています。

秋の生協強化月間の取り組みで、名義変更を依頼した訪問行動では、健康新聞手配り先で名義変更を2件、組合員の出資金相続2件の協力が得られました。

支部レクとして、「弘前城菊と紅葉まつり」・「花咲温泉」に出かけ20名の参加があり、出資金の協力をいただきました。

24年度の活動成果で一番大きかったのが「下豊岡班の結成」です。継続して取り組んできた「100歳体操」の世話人に支部の運営委員が関わってくれており、新班を結成し、6人が新加入。担い手として班長・副班長を出し、新聞手配りの協力も得られました。このことから、「班会を基礎にした組合員活動」が大事だと感じています。

支部のスローガン「100歳まで健康で生きよう」を実践するためにも、組合員活動と健康づくりの運動を、みなさんの力も借りながら25年度も進めていきたいと考えています。

佐々木 義仁 総代(黒石支部)



支部レクは夏と冬の2回実施します。これまでは温泉地でランチ＋入浴というスタイルでしたが、昨年は健康館で観劇、冬は人形劇「金多豆蔵」を観ました。その結果2回の支部レクで前年より29名多く参加し、その場での加入者も8名。今年は8月1日に八戸三社大祭を予定。希望者がとても多く、70名を超えました。初めて参加の組合員も15人います。参加するために組合に入るという意思表示をしている人(当日加入)は11名です。

コロナで活動自粛になった時は現地集合、現地解散、短時間を台言葉に、ひだまりカフェ(居場所づくり)とウォーキングを始めました。カフェでは折紙で箱作りをしたり、アロマハンドクリームを作ったり、黒石薬局や訪問看護STたち・ちとせ支所の職員による健康講話を聞いたりしました。ウォーキングはずっと近場を歩いてきましたが、今年はバスを借りて奥入瀬渓流を楽しみました。カフェも

ウォーキングも年2回ずつ続けています。

活動者交流集会では今までに2回、新聞の郵送を手配りに換える作業をし、昨年3月には78件手配りに換えることができました。

組合員のニーズは何か、何をしたら楽しんでもらえるか、どうしたら加入者が増えるかを考えながら、これからも企画・立案していきたいと思っています。

村上 渡 専務

8名の総代の方から発言いただいた。時敏の石田総代からはサテライトクリニックの設置について、この総代会でどのような提案がされるか、という質問であったと思う。

浅利総代からは多世代子育て世帯の参加を促す親子企画というのは、具体的にどういうことかということ、健生エリア、藤代健生病院の経営改善、具体的な改善策について、教えて欲しいという質問であったと思う。

サテライトクリニックについては、率直に今の段階で言えるのは、なかなか実現困難なことだ。その要因としては、やはり医師の確保、医師をサテライトクリニックに配置することができないというのが大きな理由になる。今後どうなのかの展望を話すのもお示しするのも難しい状況だ。今の若い先生たちが2年間の初期研修を終え、と外に専門医の資格を取るために研修に行く。中間の世代がこっそり抜けている状況だ。その方が研修を終えて帰って来ただけだとそういつたことも展望できるかと思う。

多世代子育て世帯の参加を促す親子企画ということだが、どうするかというのはそれぞれの支部で何ができるのかを検討していただきたい。今、看護師メインで子育て支援カフェをやっている。親子に参加していただける企画なので、そこから組合員につながるといったことが広がれば良いと思う。

前進した取り組みをいくつか支部から報告いただいた。いずれにしても、活動をしっかりと行えば結果がついてくるというようにあった。活動をするということと外から取り組みを学

ぶ。和徳支部の高松総代からも内向きの活動ではなかなか広がらない。外から学んでどんどん町内会、町会長とのつながりを強めて活動を広げたという発言がされた。ぜひ我々の活動を地域に広げるといふ提案をしたが、具体的な実践ということ、ぜひいろんな支部でも検討いただければ幸いだ。

五所川原の高橋総代からは、「健生病院医報」の紹介をしていただき大変ありがたうございます。医報は今、ホームページで公開もしている。地域の皆様に見ていただく機会はこれまでなかった。ぜひご覧になっていただければ皆さんも勉強になるかと思う。

4月の経営状況で2億資金が減ったのは事実。その要因は、4月は資金需要が高く、入ってくる報酬が日数の少ない2月分のため収入が少なく、支出が多い。そもそも償却前経常剰余という獲得資金が予算を超えてもマイナスの状態ということもあつての資金減少になった。5月はまだ決算が確定していない。少し予算を下回る状況。病院のベッドが空いていたり、収益が予算に届かない。費用も予算を超えそうな見立てになっている。5月の資金の残高が上半期の中では一番少ない水準になると思う。減つてはいるが今のところ想定内ということ、予算を着実にクリアすることが求められる。すると資金の減少も防げる。とにかく目標とした患者を受け入れる。目標とした費用の削減を実行する積み重ねになる。

組合員にできることとして、外来患者を増やすことはありがたい申し出ではあるが、医師体制の問題でお寄せいただいた期待にすべて答えるのは難しい局面もある。いろんな方に外来受診していただければ経営が良くなるというのを声高らかに申し上げるような体制になっていない。どうみなさんに提起していかねばならない。健診や予防接種に関しては受けられる体制を広げる努力はしている。そこは積極的に活用利用いただきたい。

経営を支える意味では出資金を増やしていただくと経営の安定につながる。4課題の達成は数を追うので数だけを追うと大変だ。こういった活動

をした結果その数が生まれるかが大事。普段の組合員活動をぜひ充実させていろんな方に知って参加して、結果的に出資金が増えることをめざしていただければ、経営的な支えに繋がる。お願いしたい。

泉谷 雅人 事務局長

健生病院の経営改善の具体的な話をさせていただく。昨年の1億円の予算超過ということであつたが、健生病院は昨年の下期10月から病棟再編を行い、多くの患者を受け入れることに取り組んだ。前半の上半期についてはベッドが空いている状況であつた。昨年度10月以降の、患者を受け入れる状況を、今年度は1年通して行うのというの、一番大きなところである。さらに救急車も市立病院がなくなつて本当に大きな要請がある中で、申し訳ないがすべてを受け入れる状況ができていないという状況だ。そこでしっかり回転を高めて、より早めに退院できるように治療と、多くの患者さんを受け入れていくことを今年度の目標にしている。

あとは、組合員や地域の方の健診をより多く受け入れようということ、で、午前しか健診はやっていないが、今年度から午後健診をスタートさせていきたいと思っている。多くの方の健診を受け入れて保健予防活動に取り組んで行きたい。

一番重要なのは在宅。月10件ずつ増やしていく目標にしている。チラシを配って多くの問い合わせをいただいている。在宅は国の政策でも病床削減して在宅の流れになっている。経費削減も今計画している。多くの経費削減と増収策で今年度の経営改善を図ってきたい。

奥瀬 昭彦 藤代健生病院事務局長

藤代健生病院で大変なのは医師問題である。2018年現在11名いた医師が、今日現在医局医は4名という状況である。様々な個別に諸事情により医師の退職もあつて、少数精鋭で頑張っている。我々は医師の紹介業者を頼ったことがなかった。これからは医師の紹介業者にも相談しながら獲得しようと思つている。この獲得が成功すると急性期治療病棟は53床あつて、医師3

名担当しているが、医師1名16床までという算定要件があるので、53床あるうち48床までしか入院することができない。医師1名獲得できると53床まで入院できる。1日平均53名で1日当たり13万ほどの収益増につながる。医師体制が確実になると入院の加算料もワランク上の加算を算定を展望できる。固定費を下げる努力をし、少しでも経営の改善に取り組んでいる。

村上 渡 専務

高橋総代の発言について。

中長期計画は今回の資料に掲載してなくて申し訳ない。しっかり理事会に確認したものはまだない。今の予算の到達を踏まえて理事会確認ができているが常務理事会の中では素案がある状態。中長期計画は大変重要で、組合員の皆さんに安心できる計画をしっかりとつくりたいと共有したい。

伊藤 真弘 理事長

細かな事業計画も含めた中長期の計画はきちっとした形で示すものはまだできていないということだと思つた。全日本民医連の経営部の調査に合わせ、昨年総代会に出した数年かけて必要利益に届くことをベースにした10年間のキャッシュフローベース(要するに現金がどう回っていくか)、10年間の中長期計画を立てますと、いわゆる月商倍率、自分たちのキャッシュの動きが非常にリスクが高い(現金がなくなるんじゃないかというリスクの高さ)水準の期間がおよそ3年から4年続くこともあつて、そういうことを元にして全日本も1年で必要利益に届くような計画を立てたらどうか。ということで立てたのが今回の予算につながるキャッシュベースの中長期の事業計画だ。まだ完全に確定していない。総代会に出せる形になっていない。ご指摘はもっともだ。藤代健生もだいぶ老朽化している。何らかの形でリニューアルしなければならぬことなども一応事業の展開の中では念頭に置いている10年間の計画。すべての事業所の建て替えまでは全部組み込めていないのが実情だ。今年の予算の遂行状況をみながら早くお示しできるようにしたい。

## 専務就任と総代会閉会のごあいさつ

泉谷 雅人

このたび7月から専務理事を拝命いたしました泉谷雅人でございます。どうぞよろしくお願い申し上げます。

まず初めに、津軽保健生協の歩みを支えてこられたすべての皆さまに、心より感謝を申し上げます。津川武一先生はじめ津軽保健生協に関わるすべての皆さまの志と実践があつてこそ、今の津軽保健生協があると感じています。

いま、私たちを取り巻く社会保障制度は大きな転換点にあります。国の進める社会保障費削減の流れは、医療・介護の現場に深刻な影響を及ぼし、住み慣れた地域で、必要なときに必要な医療が受けられるという、当たり前の安心が揺らぎつつあります。社会保障費の削減は地域の命と健康を蔑ろにするものです。

津軽保健生協は、協同の力によって支え合う医療・介護のかたちを、地域の力で実践してきた組織です。この歴史と理念を大切にしながら、私は専務理事として、いま目の前にある課題と正面から向き合い、地域の皆さまとともに歩んでいく決意です。

本日の総代会では、皆さまから貴重なご意見やご提案を多数いただきました。それぞれの声には、地域への強い思いと、津軽保健生協への期待が込められていると感じております。こうした声をしっかりと受けとめ、組織運営に反映してまいります。

今後、地域の実情に根ざした私たちの暮らしを守る立場から、声を上げ、行動していくことが必要です。ともに支え合い、たたかう協同の力を、皆さんとともに育んでいきたいと思ひます。



要です。ともに支え合い、たたかう協同の力を、皆さんとともに育んでいきたいと思ひます。



医師からの紙ヒコーキ

18

小児科医として、親として

健生病院 小児科 藤岡 彩夏



こんにちは。この度、2025年4月から健生病院小児科で働くこととなりました、藤岡彩夏と申します。青森市出身で、津軽弁は聞くのも話すのも得意です。これまでは、弘前大学医学部附属病院と、弘前総合医療センターの小児科で働いてきておりました。当科では、一般的な、風邪や胃腸炎などの感染症の他、てんかん、発達障害、体の成長について、アレルギー等、子どもの病気、悩みについて幅広く対応しております。

現在私は、小学3年生の長男、小学2年生の次男を育てております。2人とも、とても元気で、仲良く遊んでいたかと思えば、激しいケンカをして学校から電話がかかってくることもある、やんちゃ盛りです。それでもまだ手がかからなくなった方で、小さい頃は更に、目を離せない大変な子たちでした。赤ちゃんの頃は、夜泣きが激しく、夜中の2時から朝の6時まで抱っこし続ける日があったり。離乳食を嫌がり号泣しながら食事用のイスから脱走したり。急に真っ青になってけいれんしたこともありました。少し大きくなり、皆が話し始める年齢になっても中々言葉が出てこなかったり。そうかと思えば、急にたくさんの車の名前を連呼し始めて、でも会話はうまくできなかったり。熱を出してほと

んど何も食べなくなったかと思ったら、元気になって走り回って前歯が欠けるようなケガをしてみたり。たくさん、たくさんありました。

小児科での診療にあたり、今まで学んだ医学知識を動員し、他の医師からの話を聞き、文献を読み、最適な対応ができるよう、日々情報をアップデートしています。しかし、それだけでなく、子どもを持つ親として、皆さんのお役に立てる面もあるのではないかと考えています。先に述べた通り、うちの子もたちには、色々と手のかかる大変な部分がありました。かわいいと思う気持ちだけでは抑えきれない辛さもありました。ですので、同じような辛さを抱えた親御さんと、気持ちを共有し、進んでいく方法を考えていくこともできるのではないかと考えています。また、子育てをしていく中で、育児に使える便利なグッズにはどんなものがあるのか、近くで子どもたちが楽しく遊べる場所にはどこがあるのか、そういった情報を得ることもできました。直接的には医学とは関係のないお話ですが、そういった意味でも皆さんのお力になればと考えています。どうぞよろしくお願いいたします。

支部総会



5月10日 北支部 13名



5月13日 文京支部 16名



5月14日 小泊支部 7名



5月14日 鶴田支部 14名



5月14日 藤崎支部 14名



5月17日 常盤支部 21名



5月19日 河西支部 21名



5月21日 時敏支部 18名



5月21日 東支部 23名



5月24日 五中支部 29名



5月24日 板柳支部 25名



5月24日 和徳支部 25名



5月27日 下町支部 16名



5月28日 大成支部 16名



5月31日 浪岡支部 34名

2025年度 まちかど健康チェック			
月日	支部名	実施場所	時間
7月4日(金)	文京支部	コープ西弘店 イートイン	10:00~11:30
7月10日(木)	藤岡支部	ふじさき 食彩テラス	10:30~12:00
7月18日(金)	浪岡支部	いとく浪岡店 イートイン	10:00~11:30
7月28日(月)	尾上支部	もてなしロマン館	10:00~11:30

**支部予定** 7/25 岩木支部 (金) 支部レク ●康楽館 小坂町

津軽保健生協 健康づくり委員会 ストレッチ教室

7月・9月10月 毎週月曜日  
(月曜日の場合は前の週の土曜)  
9時30分~11時00分

プログラム

ー 講話ー

健康に関する講話、  
身体の仕組みなど  
(津軽保健生協職員、  
ファルマ、ボランティア)

ー ストレッチー

転倒予防、ボール、  
セラバンド、  
リズミ体操など  
(ひろさき健康増進リーダー、  
弘前市スポーツ指導員)

希望者には終了後に  
フットケアも実施し  
ます！(予約制)

お気軽に!! 参加費無料!! 動きやすい服装で!

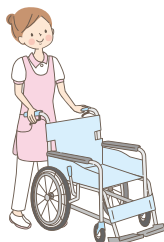
ストレッチ教室予定表  
ー 1回のみの参加もOKですー

日程	9時30分~10時 ミニ講話
第6回 7月7日(月)	糖尿病について
第7回 7月14日(月)	わんわんパトロール隊について
第8回 7月19日(土)	帯状疱疹、なんでも健康相談
第9回 7月28日(月)	フットプリント・アンケート記入

講話のリクエスト募集中!! 9月10月も予定しています。

会場:津軽保健生協会館 2F  
申込先:津軽保健生協組織部(0172-35-8933)

「医療制度崩壊はどこまで進む? 国保を例に」



2025年7月26日(土)10:00~生協会館2階ホールにて、「医療制度崩壊はどこまで進む? 国保を例に」と題して、社保平和委員会主催の学習会を開催致します。講師は高松利昌さんをお迎えします。沢山の参加をお待ちしております。参加希望の方は、組織部 佐々木まで 社保平和委員会(組織部)0172-35-8933

増資のお願い

津軽保健生協の経営基盤と医療介護事業の運営を支える増資にご協力をお願いします。





当日の内容は大きく分けて「2025年度医療活動方針・経営到達と今年度予算概要・津軽保健

2025年度  
5/28  
健生大会をふりかえって

5月28日(水)の午後「2025年度健生大会」が健生病院会議室で開催されました。健生大

生協の法人全体活動方針・重点方針の推進」を行いました。

2025年度の健生エリア医療活動方針は竹内

病院長より、①生協組合員とともに人権を尊重

し、貧困・戦争反対の社保平和活動②医療安全・

心理的安全性・チーム医療③業務改善・働き方改

革・医療DXの3つを確

認しました。また、津軽保健生協の全体の経営状

況は昨年度に引き続き喫

緊の課題として最重要課

題であることが法人専務理事・病院長・病院事務

局長より提起されまし

た。人件費・水道光熱費

をはじめとしたすべての

経費の増大が法人全体の

経営を圧迫している大き

な要因です。一方で収益

の大半を占める診療報酬

は昨年の改定の影響によ



とは、アクセシビリティ

の向上、事故などの危機が

発生するおそれのある状

態を広く言います。通常業

務を行ううえで発生した

インシデントを報告する

文化を形成することで現

在の運用が正しいかを評

価し、医療事故(アクセシ

デント)を防ぐことにつ

なげることが出来ます。

参加者からは、「課題と

今後の展望についてよく

わかった」「組合員・理

事の方の参加がありよ

かった」という感想が寄

せられました。

国民の生活背景は、物

価高騰をはじめ格差と貧

困がますます拡大してい

く情勢ですが、必要な方

が必要な医療・介護を受

けられる地域づくりを目

指して健生大会の紹介と

させていただきます。組

合員の皆様、今年度もよ

ろしくお願い申し上げます。

(健生病院

事務局次長・

波多野宏行)

ご存じですか？寝具の丸洗いサービス

「寝たきり高齢者寝具丸洗いサービス」を実施している自治体があります。弘前市の場合、自宅で生活をしているおおむね65歳以上の寝たきりの方が対象です。その他、黒石市、西目屋村、つがる市でも同様の事業を実施していますが、利用条件や実施時期異なります。ご希望の方は、各市町村の高齢者福祉窓口へお問い合わせください。

弘前市の介護保険を良くする会(代表幹事:木村 宗一郎)

自治体名	支援内容	対 象
弘前市	掛布団、敷布団、毛布または丹前のいずれか各1枚ずつ、合計3枚までの丸洗い・乾燥・殺菌消毒。費用は無料。	自宅で生活をしている、おおむね65歳以上の寝たきりの方。 ※今年度の受付は8月1日(金)まで
黒石市	掛布団、敷布団、毛布、枕の洗濯、乾燥及び消毒。掛布団1枚230円、敷布団200円、毛布70円、枕40円。年4回まで。	市民税非課税世帯に属する65歳以上の在宅高齢者で要介護4または5の方。
つがる市	布団1組1回水洗い1,000円、乾燥消毒300円。月1回。	寝具の衛生管理が困難な下記の方 寝たきりの高齢者、重度身体障がい者等。
西目屋村	専門業者による掛け布団、敷布団、毛布、枕の水洗い料(乾燥・消毒含む)の費用補助。利用者負担額は掛け布団1枚424円、敷布団400円、毛布109円、枕36円。	65歳以上の高齢者で次のいずれかに当てはまる方。 1) 要介護4または要介護5の認定を受けている方。 2) 身体障害者手帳1級または2級を所持している方のうち、体幹または下肢不自由の方(65歳以上の世帯に限り)。)

前号の紙おむつ等の支給に係る記事で、弘前市の例に誤りがありました。以下のとおり訂正してお詫び申し上げます。正しくは、支給月が4月、8月、12月の年3回で支給品目はテープ止めタイプの紙おむつM・L、尿取りパッドから一つです。また、支給対象は満65歳以上の寝たきりの方です。詳しくは市のホームページの「寝たきり高齢者等への紙おむつ支給」をご覧ください。

黒石支部  
ウォーキング~初夏の奥入瀬を歩く

5/29

朝から五月晴れで良い一日になる予感がしました。定員19名のバスは満席で、予定通り午前8時に健生黒石診療所を出発しました。

奥入瀬に着き「雲井の流れ」付近から歩き始めました。滑らないように用心

に、転ばないように用心しつづ渓流に目をやると、雪解けで水量が多

く、力強い流れです。イチリンソウやエンレイソ

ウなどの山野草も目を楽しませてくれました。眺

子大滝までの2・7キロを80分ほどかけてゆつくり歩きました。空気が爽やかでした。転んだり怪我をしたりという人がい



なくて良かった！

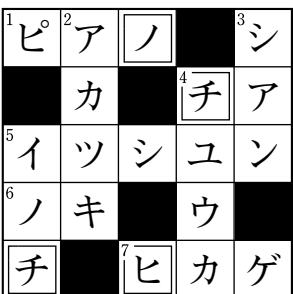
帰り、「奥入瀬渓流温泉スキー場」シバザクラ

の丘に寄りました。ほと

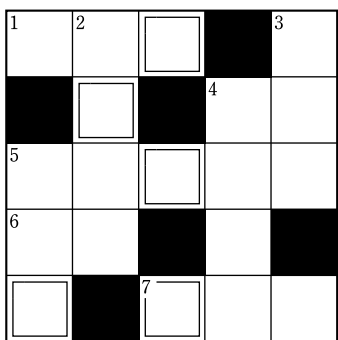
んどの方がお疲れモード

で頂上まで登る気力、体力がなくな途中で断念。しかし、見るだけで人を圧倒させる見事な景色でした。圧巻！ワクワクした良い一日となりました。

(理事・阿部陽子)



第747号(6/1付)パズルの正解「チノヒル父の日」



《ヒント》(5文字)  
お——は何を  
贈りましょうか?

当選者は9月号に発表



応募方法

▼とき方「カギ」に従ってマス目をうめて下さい。二重の枠の中に入った文字をうまくつなげるとひとつの言葉(答え)になります。  
▼「興味を感じた記事」や、日頃の想い、身のまわりのことをご記入下さい。おたよりは一部紙面に掲載させていただきます(紙上ペンネーム可)  
▼締切日7月20日必着。正解者から10人にQUOカードをお贈りします。  
▼送り先 〒036-1804-5 弘前市野田2丁目22の1 津軽保健生協・健康パズル係 Eメール kenkou@sugar-health.coop



父の日が来る

板柳町 ひまわり

もうすぐ父の日ですね。父が亡くなってもう30年。私も父が亡くなった年齢と同じになりました。父が身をもって教えてくれた健康に気をつけて一杯命に感謝して人生を楽しんで生きていきたいと思っています。

「ご存じですか？」

弘前市 対馬 肇子

他市町村の介護サービスの取り組みの比較を、興味深く読みました。申請すること受けられるサービスがあることが分かって良かったです。

佐藤医師のコラム

平川市 古川 進

産科の医療の目まぐるしい変化についてを読み、なるほどと共感しました。私もシニア世代に突入し最近のAIやコンプライアンスなど、自身のアップデートが間に合わず遅れを取っており、時々自己嫌悪になります。そして最後には「山の虹」の記事を借りて、「それでも私は生きているだけで価値があること」その言葉に癒されます。

岩木山です

平川市 岩井 昌子

他県の5歳の孫の一言。「ばあば、富士山見えてるよ。きれーい!!」ばあばは、その一言がとってもうれしかったのです。ウフフ。

娘の配慮

弘前市 石岡 裕樹

父の日には、毎年娘からビールのプレゼントがあります。これが続くのもお互いに健康でいられるからですね。酒量に気をつけ、今年もおいしくいただきました。と思います。

津軽保健の活動

田舎館村 成田 愛弓

弘前市役所での「健康チェック」が良い試みだと思いました。用事があつて訪れた人がついでにできるので便利です。

花の1年生

弘前市 チャンユラ

「すくすくエンジェル」に載った時は赤ちゃんだった私も、小学校1年生になりました。大きな病気もしないで元気に楽しく小学校に通っています。

毎号楽しみ

藤崎町 相坂眞貴子

いつも「健康」を楽ししく読ませていただいております。「読者サロン」で皆さんの日々の楽しいことが、これからも良いニュースを!

好きな野球

平川市 奈良 喬

左足を骨折、好きな野球ができなくなりしましたが、チームの監督(78歳)として試合には参加。先週青森市の古希以上のチームの試合で、メンバー皆さんのおかげで、今年度の初勝利をあげました。全員をほめてあげました。

キャンプが目標

弘前市 るるあお

愛犬とおでかけする季節となり、週末はドッグカフェやドッグランで大忙し。今夏の目標は犬たちとキャンプをすること。

来年で閉校に

青森市 鎌田 敏子

本郷小学校の運動会に出かけました。雨のため体育館で行われ、1日おいて徒競走がグラウンドで開かれました。体育館では小学生中心に保育園、婦人会、町内会ほか村全体の運動会でした。徒競走では日頃の子供たちの頑張る姿が目焼きついています。他校と一緒に頑張る姿が目に焼きついてもがんばれ!

もうすぐ喜寿よ

平川市 ヨッチン

4月から生協のお仲間に入れてもらいました。また、6月2日からお仕事を休みました。もうすぐ喜寿になるけど健康に気づかいながら頑張るつもりです。



5月度臨時理事会

5月13日

【審議事項】

- 第100回通常総代会議案書
- 専務理事人事に関する提案

5月度定例理事会

6月3日

【報告事項】

- 5月度の主な経過報告と6月・7月・8月の主な行事予定
- 専門委員会報告
- 4月度の月次決算報告
- 4月度の組合員活動報告
- 青森県医療事業協同組合理事会報告
- 青森県生活協同組合連合会理事会報告
- 第2回表彰選考委員会報告書
- 2024年度決算監査報告書(監事監査報告書)

5月度臨時理事会

5月26日

【報告事項】

- 第2回役員報酬審議会【審議事項】
- 2025年度役員報酬額の提案

5月度臨時理事会

5月19日

【審議事項】

- 2025年度役員報酬額について
- 「役員報酬の承認に関する件」の提案

楽しいお料理

☆献立紹介…  
藤代健生病院栄養科  
管理栄養士  
町田 環

～なすとトマトは夏野菜の代表選手!～  
なすのトマトソース炒め



<材料4人分>

長なす6本 サラダ油小さじ2  
<トマトソース>にんにく1かけ オリーブオイル大さじ1 玉ねぎ 1/2個 トマト3個 イタリアンハーブミックス小さじ2 塩小さじ1 オリーブオイル大さじ2 パセリ4g

<作り方>

先にトマトソースを作る。別のフライパンでなすを焼き、トマトソースをからませる。  
下準備：にんにくはつぶす。玉ねぎはみじん切り。トマトは一口大にカット。  
①厚手の鍋にオリーブオイル大さじ1とにんにくを入れて中火で熱し、香りがたったら玉ねぎを加えてしんなりとするまで炒め、トマトとイタリアンハーブミックスを加え炒め合わせる。

②弱めの中火でときどき混ぜながら水分がほとんどなくなるまで煮込み、塩で味をととのえる。

③火を止め、オリーブオイル大さじ2を加えてトマトソースが完成。

④なすは縦半分にカットし切れ目を入れ、サラダ油を熱したフライパンで両面を焼く。

火を止め、トマトソースを入れてからめる。

⑤器に盛り付け、刻んだパセリを散らす。

トマトソースは塩こしょうでソテーした鶏肉にかけたり、パスタのソース、またはスープのベースなどいろんなアレンジができますので便利です。

1人分 エネルギー 191kcal 塩分 1.5g

このような時、ご連絡ください

- ・住所、氏名が変わった時…。
- ・引っ越しされた時…。
- ・「健康」新聞が2部届いている時…。
- ・組合員がお亡くなりになられた時…。

津軽保健生活協同組合 組織部  
電話0172-35-8933

藤代健生病院 家族教室のご案内

発達障がいについて

●7月12日(土)

講師：西澤望 臨床心理士

時間＊9時30分～11時30分の開催です。

[参加希望の方は下記までご一報を!]

地域連携室 Tel.0172-36-5181



- 2024年度決算所見(公認会計士による決算所見)
- 【審議事項】
- 【議決事項】
- 理事長職務代行順位の提案
- 人事の提案(健生病院事務局長)
- 【協議事項】
- 経営関係
- 1) 4月度の月次決算報告書(報告事項1ー③)
- 第100回通常総代会関連
- 第100回通常総代会スローガン(案)
- 特別決議(案)
- 第100回通常総代会プログラム(案)
- 【資料共有】
- 健生エリア2025年度経営方針(職員向け資料)
- 日本医師会と6病院団体の合同声明(2025年3月)